



他2つの賞と24の映画祭に入選!

奇跡のような映画ができた!

世界中の人の観てもらいたい。子供達から未来のヒントをもらう

武本匡弘 環境活動家・プロダイバー

プラスチック汚染問題にニューヨークの小学生が立ち上がる!

# マイクロプラスチック・ストーリー

~ぼくらが作る2050年~



MicroplasticStory.org

監督・プロデュース： 佐竹敦子 Atsuko Quirk & デビーリー・コーヘン 制作：カフェテリア・カルチャー

## 映画上映会

2022年8月21日(日) 9:45~11:45 (9:30開場)

小平市中央公民館 1階 視聴覚室 (小川町2-1325)

上映終了後(11:05~)、プラゴミバスターズとして子どもたちと活動する  
NPO法人海の森・山の森事務局理事長の豊田直之さんからお話をお聞きします

参加費：500円 定員：会場60人+オンライン(Zoom)100人

要申込：kodaira\_kankyo@jcom.zaq.ne.jp または080-5496-7675 (島)へ

後援：小平市、小平市教育委員会 主催：小平・環境の会

\*申し込みの際、必ず、会場とオンラインのどちらを希望されるか、お知らせください。  
オンラインの方は申し込み後8月17日までに下記の郵便振替口座に500円を振り込んでください。  
振込を確認した上で、前日までにZoomのアドレスをメールでお知らせします。  
郵便振替口座 00150-3-514947 小平・環境の会



## 小学生がプラスチック汚染問題の解決策を見いだせるか？

マイクロプラスチック・ストーリー～ぼくらが作る2050年～はニューヨーク、ブルックリンの5年生たちが世界的に大きなプラスチック汚染問題を学び、彼らの視点でこの問題の根幹が何かを問いただし、解決に向かって自分たちのコミュニティからアクションを広げて行くまでの2年間を追った長編ドキュメンタリー。



ブルックリンのレッドフック地区にあるPS15の5年生は、自分たちでリサーチやデータ収集を重ね、それを市議会で公表し、自分たちの住む地域で啓発活動を重ねていく。そしてプラスチックはごみになってからだけでなく、生産の過程でも地球環境を汚染していること、そしてそれが気候変動に関わっていることを発見し、自分たちの学校のカフェテリアでアクションを起こし、それをニューヨーク市全体に広げて行く。映画では子供達の素朴な疑問を丁寧に重ねていきながら、専門家がそれに答えて行き、アニメーションをふんだんに使ってこのプラスチック汚染問題を子供から大人までわかりやすく解き明かして行く。子供達のまっすぐな熱意から希望が滲み出るマイクロプラスチック・ストーリーは世界30の映画祭に選ばれ6つの賞を受賞している。



テンポの良さ、わかりやすさ、子どもたちの表情、そして実際に米国で広がった変化。すべて素晴らしく、子どもたちと市長とのやりとりにはシビれました。私も、地元の子どもたちと動きだしたくなりました！

社団法人代表、ラジオパーソナリティー 小野寺愛

この映画を通して、観た人の生き方を変えるほどの熱量があり、圧倒されました。

WEB広告ディレクター 匿名

これはマイクロプラスチックの学びを深めて行動した小学生たちの環境保護ドキュメンタリーというだけでなく【民主主義とはこうあるべき】ということ伝えるパワーのある作品だと感じました。

デザイン業 小林久実

## 自主上映をしませんか？

学校、企業、公民館、市民会館での上映や先生方の研修、コンフェレンスなど様々な場所や機会でも上映して頂いております。オンラインでの上映もできますので、ぜひ映画の公式サイトでの自主上映ページを覗いてみてください。お問い合わせも公式サイトから受け付けております。 [www.MicroplasticStory.org](http://www.MicroplasticStory.org)

吹き替え版制作のための子役声優公募オーディションを近々発表します。詳細は公式サイトで！

監督・プロデュース： 佐竹敦子 Atsuko Quirk & デビーリー・コーヘン 制作：カフェテリア・カルチャー  
撮影・編集：佐竹敦子 アニメーション：ダニエル・ラモス&デビーリー・コーヘン